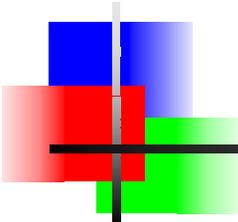


2007年3月期 決算説明会

2007年5月16日

東和薬品株式会社

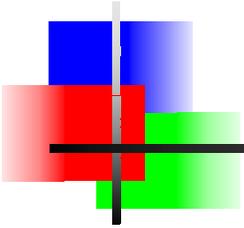
(証券コード:4553)



CONTENTS

. 2007年3月期実績	2
. 2008年3月期見通し	12

. 2007年3月期実績



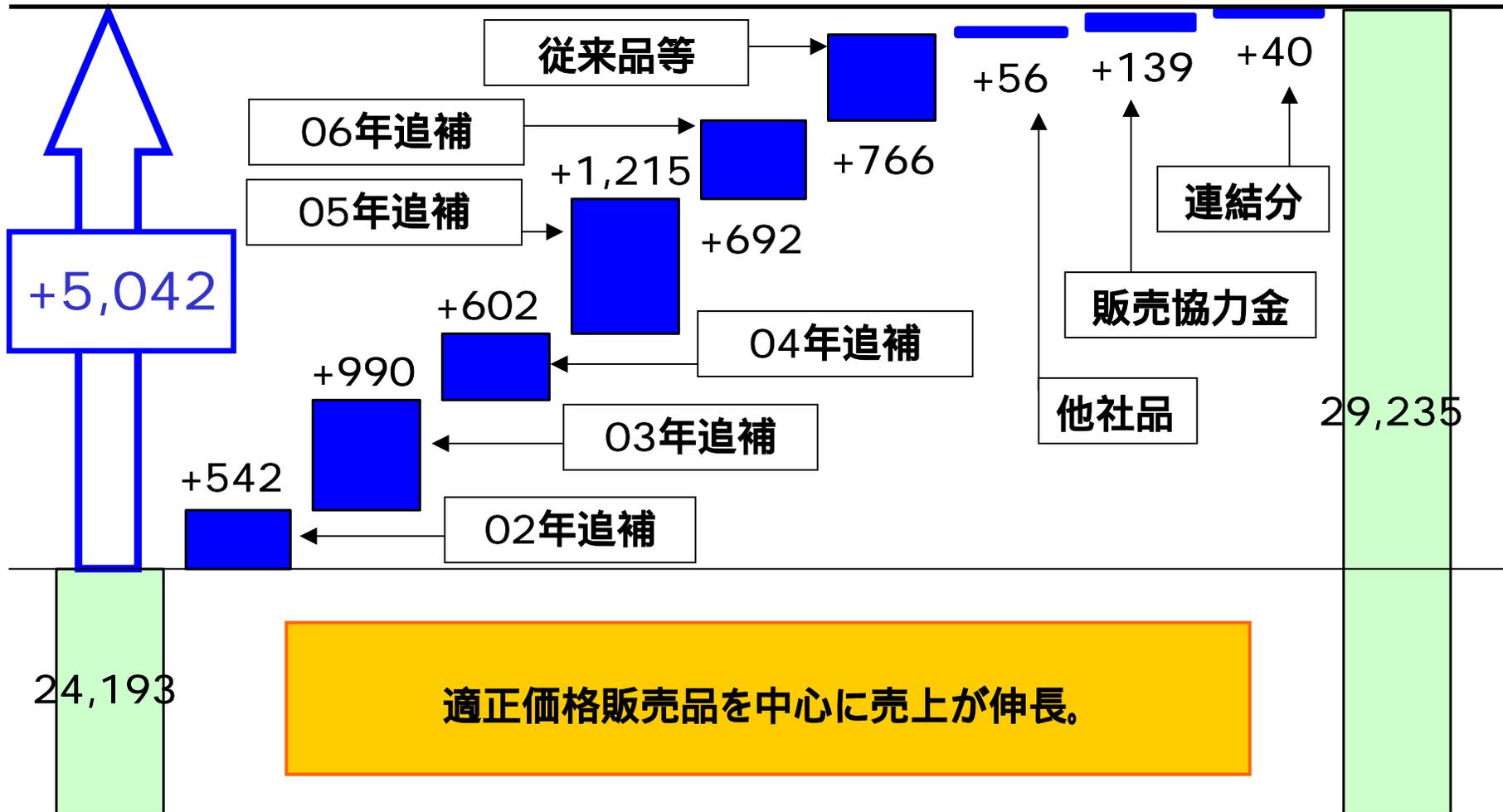
2007年3月期業績概要

(単位: 百万円、%)

	07/3期			06/3期	
	金額	対売上 高比率	前年同期比	金額	対売上 高比率
売上高	29,235	-	+20.8	24,193	-
売上総利益	13,646	46.7	+24.5	10,957	45.3
販管費	9,229	31.6	+7.8	8,560	35.4
営業利益	4,416	15.1	+84.2	2,397	9.9
経常利益	4,886	16.7	+39.4	3,506	14.5
当期純利益	2,598	8.9	+156.6	1,012	4.2

売上高詳細

(単位:百万円)

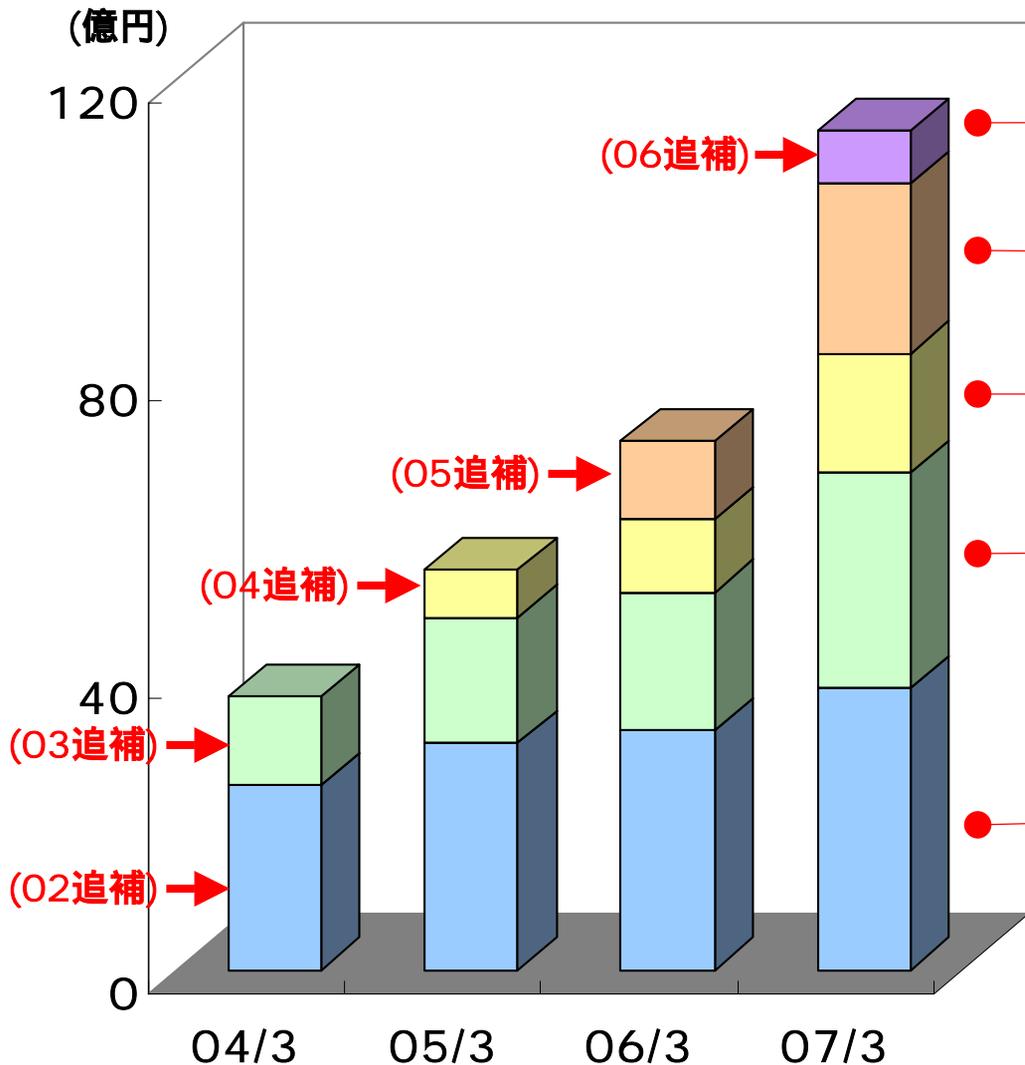


適正価格販売品を中心に売上が伸長。

06/3期売上

07/3期売上

追補品売上高推移



新規収載品(19品目)

売上高約7億円。大型品少なく、
暖冬の影響もあり、計画未達。

02~05年追補品(90品目)

対前年比

05年追補 +110.6%

04年追補 +63.1%

03年追補 +55.3%

02年追補 +17.2%

対前年比大幅増。

ファミスタジン、マイバスタンなどの大型主力製品が牽引し、順調に増加。

販管費

(単位:百万円)

	07/3期	
	実績	前期比 増減
人件費 (前年同期)	4,546 (4,223)	+322
研究開発費 (前年同期)	1,931 (1,779)	+151
広告宣伝費 (前年同期)	647 (644)	+3
その他 (前年同期)	2,104 (1,920)	+183
合計 (前年同期)	9,229 (8,560)	+669

人件費の増加

- 新卒・中途者の積極採用のため。

研究開発費の増加

- 改正薬事法(05/4)対応ため、一時的にBE試験実施品目数が増加した。

広告宣伝費は横ばい

- TVCMの継続

売上増に伴う諸経費の増加

営業外収支及び特別損益

(単位:百万円)

	07/3期	06/3期
営業利益	4,416	2,397
営業外収益	564	1,168
スワップ評価益	206	789
営業外費用	94	58
経常利益	4,886	3,506
特別利益	12	54
特別損失	535	1,283
当期純利益	2,598	1,012

円安に伴い、スワップ評価益
206百万円を計上。

円相場

06年3月末 116.47円/\$

07年3月末 117.05円/\$

岡山工場及び山形工場の注射
剤製造関連の資産を減損処理。

貸借対照表

(単位:百万円)

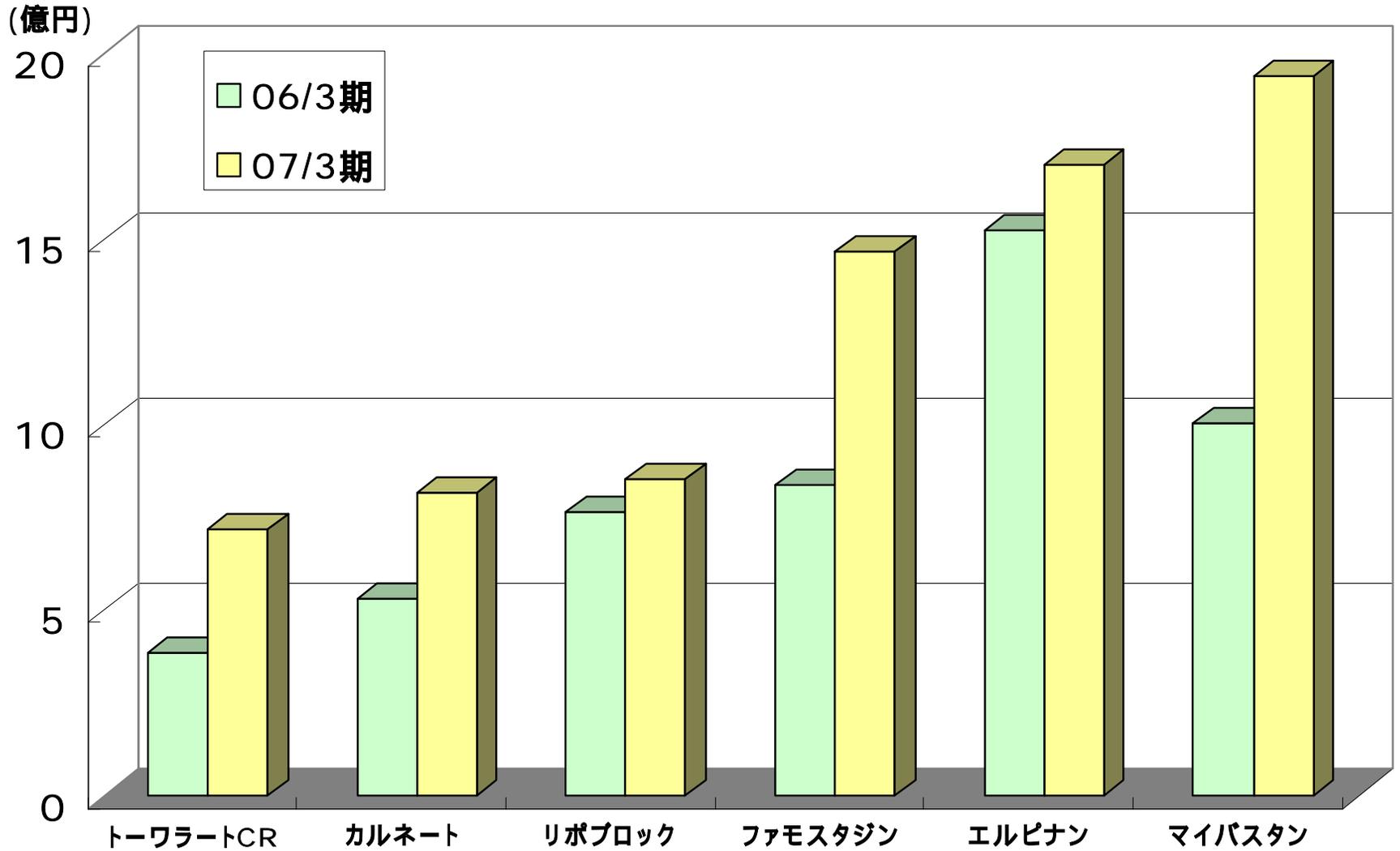
	07/3末	06/3末	増減額
現金及び預金	1,179	1,177	+2
売上債権	11,801	10,513	+1,288
有価証券	316	11	+304
たな卸資産	8,215	7,020	+1,195
スワップ資産	644	438	+206
流動資産合計	23,378	20,036	+3,342
固定資産合計	20,289	20,087	+201
資産合計	43,668	40,124	+3,544
仕入債務	4,066	3,770	+296
未払法人税等	1,334	754	+580
流動負債合計	9,277	7,739	+1,538
固定負債合計	1,120	1,241	120
負債合計	10,397	8,980	+1,417
純資産合計	33,270	31,144	+2,126
負債・純資産合計	43,668	40,124	+3,544

売上増加による

円安に伴う

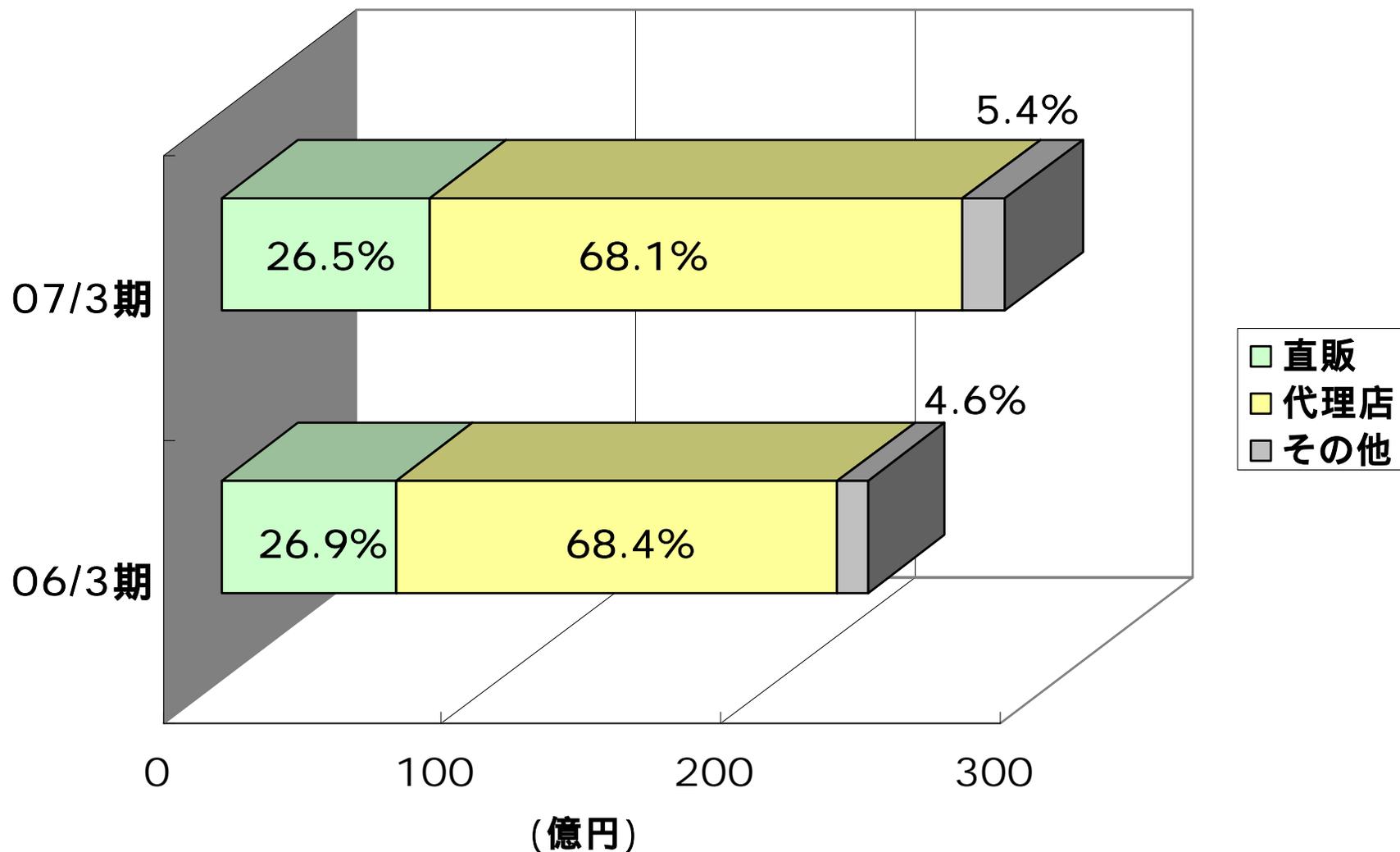
課税所得の増加

主要品目の売上推移



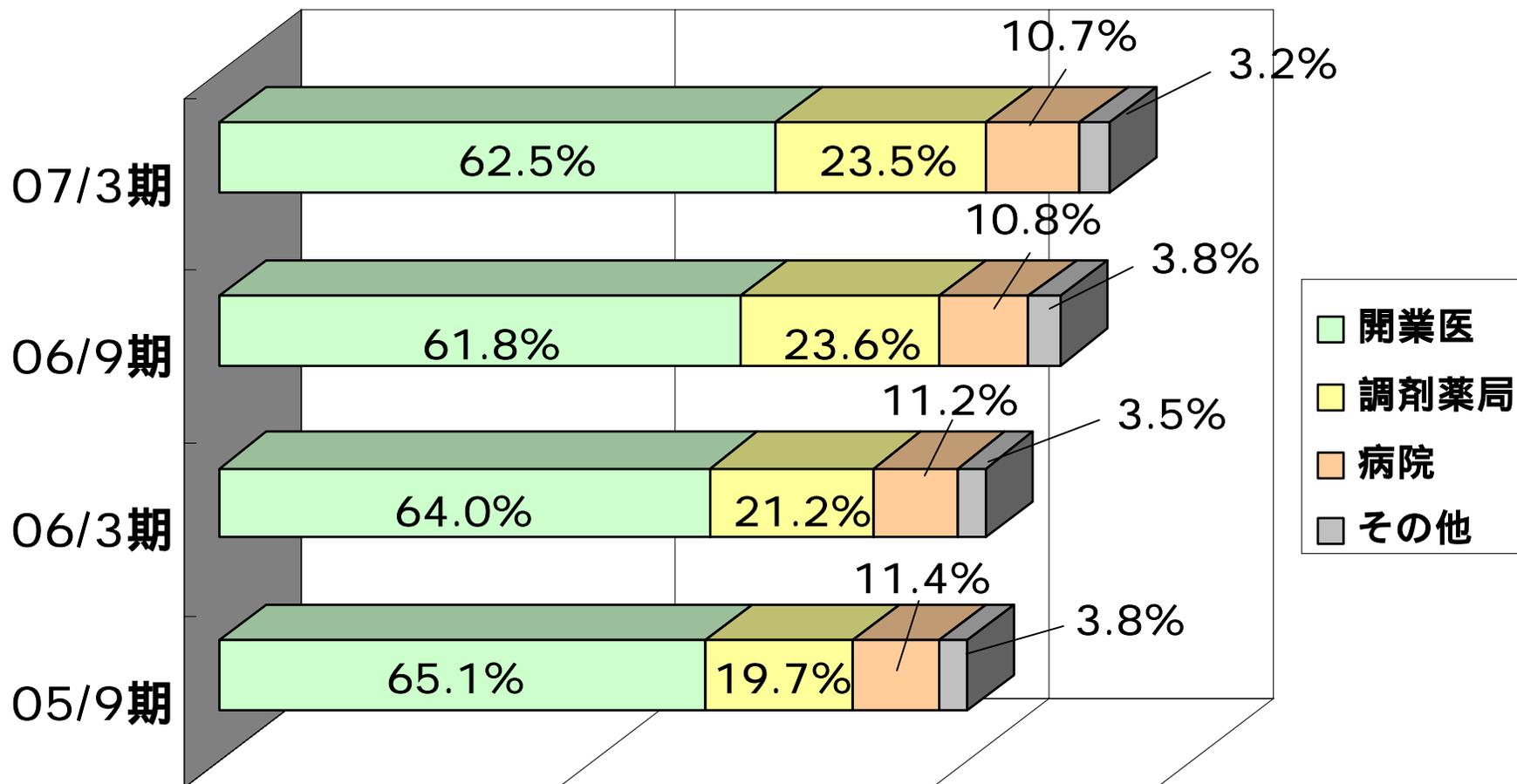
売上高詳細(販路別)

(単体)

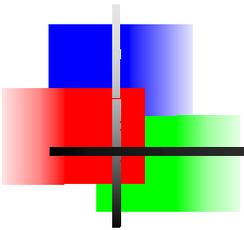


売上高詳細(納入先別)

(単体)



. 2008年3月期見通し

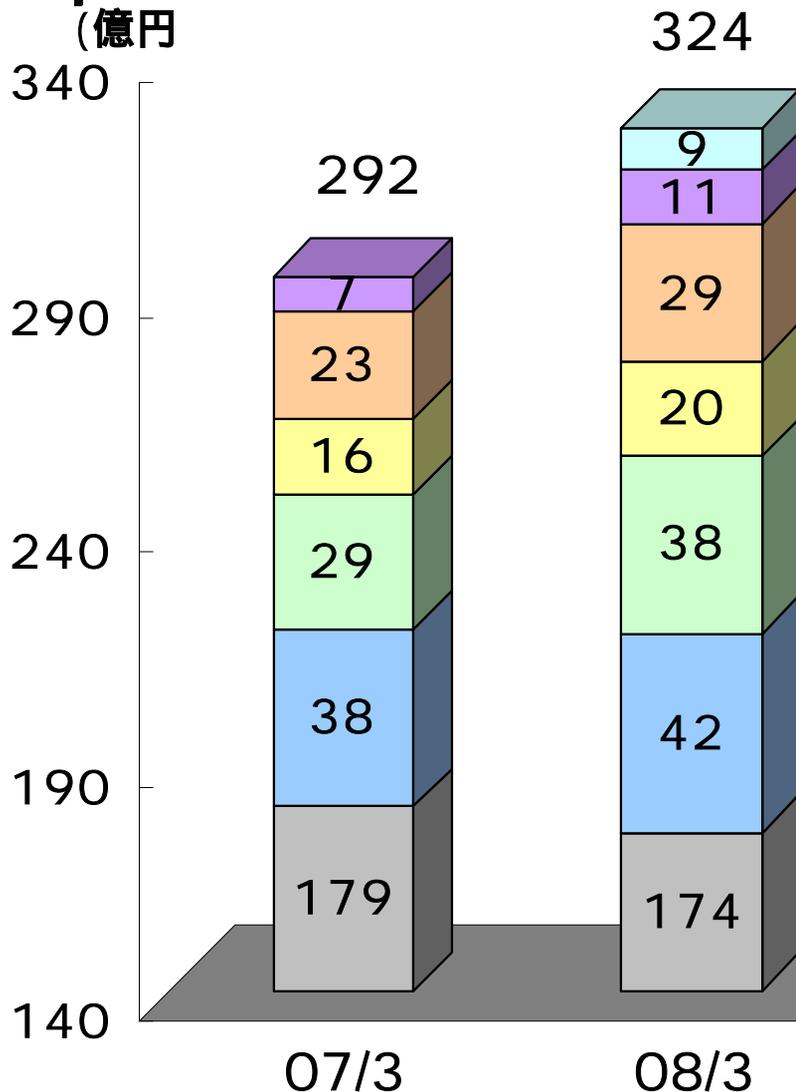


2008年3月期計画

(単位:百万円、%)

	08/3期(計画)			07/3期	
	金額	対売上 高比率	前年 同期比	金額	対売上 高比率
売上高	32,400	-	+10.8	29,235	-
営業利益	5,600	17.3	+26.8	4,416	15.1
経常利益	5,800	17.9	+18.7	4,886	16.7
当期純利益	3,550	11.0	+36.6	2,598	8.9

売上見込



07年追補

14成分22品目上市予定

オノンDS、ジルテック、ボグリボース
OD錠など

06年追補

1年間通しての販売。

05年追補

ボグリボース、ラブラゾール、ファモスタジン
Dなど大型品の成長を見込む。

02~04年追補

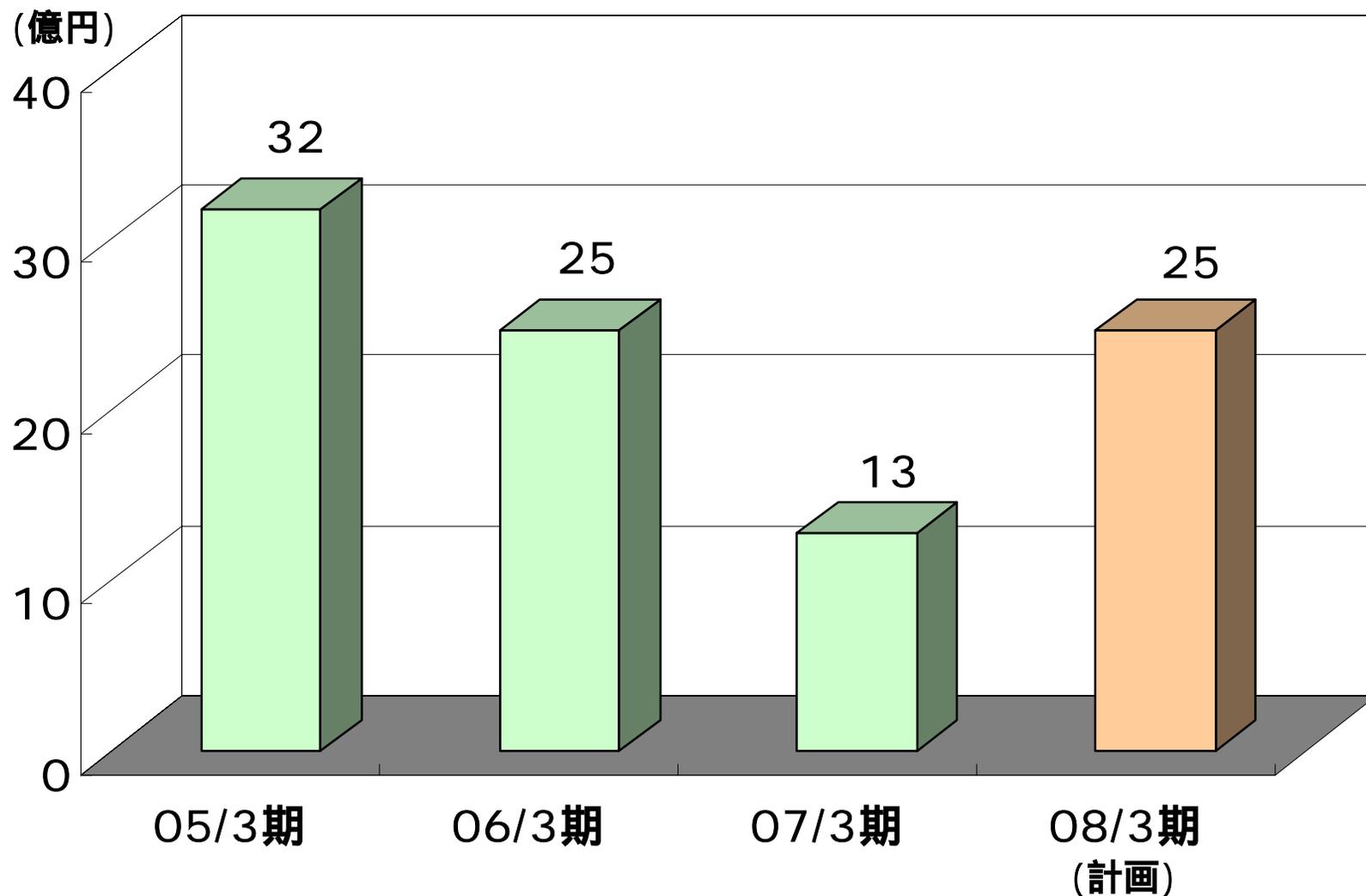
マイバスタン、エルピナン、ファモスタジン等
の主力品目のさらなる市場拡大を目指す。

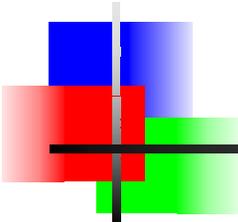
従来品等

新製品等への切り替えもあり売上減。

設備投資計画

(単体)





今年度の主要取り組み課題

適正価格販売

付加価値製品の開発
による適正価格販売を
継続

生産体制の整備

大阪工場フル稼働
岡山工場GMP水準向上
山形工場リニューアル検討

信頼性向上

東和製品の信頼性向
上のための情報提供
の充実

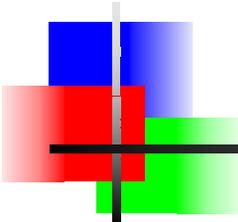
後期高齢者医療制 度導入を踏まえた

市場整備

その他GE促進策の議
論を踏まえた対応

中期経営計画策定

中期的な成長軌道に乗せ
るための施策の明確化



ジェネリック使用環境整備

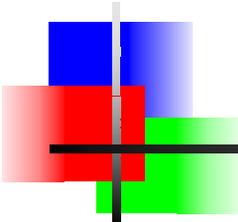
1. 規格揃え (06.3.10 医政局長通知)

標準先発品が有する規格を全て揃えること。

標準先発品が有する規格を有していないものについては、平成23年度末までに薬価基準収載の手続きを済ませること。

- 当社で不足している規格数： 86
 - 当社単独で対応するもの： 7
 - 沢井製薬・日医工との共同対応： 35
 - その他の対応をするもの： 22
 - 対応しないもの： 22
- 中止予定の規格数： 18

(年間売上規模約2.3億円)



ジェネリック使用環境整備

2 . 安定供給 (06.3.10 医政局長通知)

全国レベルで適切な時間内で医療機関の注文に応じ、継続的(少なくとも5年間)に供給すること

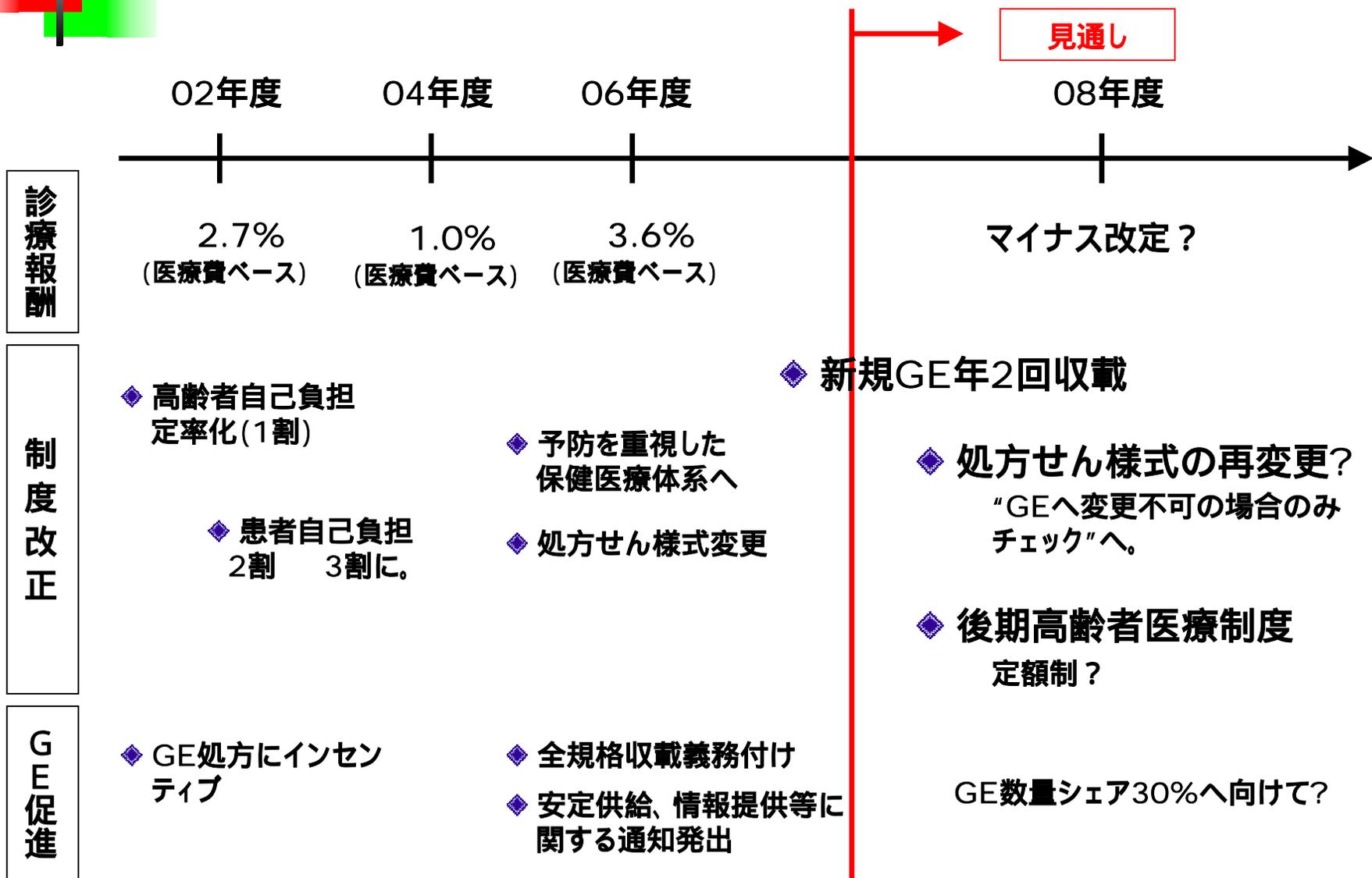
3 . 情報提供の充実 (06.3.24 安全対策課長通知)

生物学的同等性試験データを記載することが義務付けられた。
2008年3月までを目途にできるだけすみやかに改訂する。

4 . 効能効果の是正 (06.6.22 経済課長・審査管理課長通知)

効能効果、用法用量等を標準先発品と合致させること。
2006年末日までに承認事項一部変更申請を提出。
通常は約1年かかる承認審査が迅速に行われる。

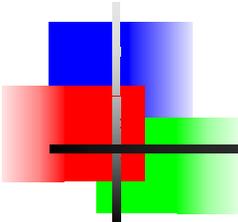
医療制度改革



GE参入が予想される大型品

(単位:億円)

年	先発販売名	一般名	06年先発販売実績
07年	オノンカプセル/ドライシロップ	プラシルカスト水和物	453
	ジルテック錠 5/10	セチリジン塩酸塩	224
	メイアクト錠100/小児用細粒	セフジトレンピボキシル	198
08年	アムロジン・ナルバスク錠 2.5mg/5mg	アムロジピンベシル酸塩	1,892
	タナトリル錠 2.5/5/10	イミダプリル塩酸塩	168
09年	ムコスタ錠100mg	レバミピド	416
	フロモックス錠 75mg/100mg/ 小児用細粒100mg	セフカペンピボキシル塩酸塩水和物	362
	アンプラーグ錠 50mg/100mg	塩酸サルポグレラート	210



< お問い合わせ先 >

東和薬品株式会社 経営企画部

TEL : 06-6900-9101
FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。